

今年はこのほか雪が多く地元の皆さんには大変なご苦労があったことと思います。

森林塾青水による茅場の取り組みも3年目を迎え、今年もまた山の口開けの時期がやってきた。そんな折、清水さんから「野焼きの日程が決まった」との知らせをいただき、3度目の正直と期待に胸ふくらませて参加した。と言いますのは、過去2回は日程の都合で野焼きを経験していなかったから・・・。

5月6日(土) いよいよ山の口開け、そして野焼きの日がやってきた。遠くて近い朝日岳。まだびっしりの冠雪を抱き茅場の復活を見守っているかのよう。あたりも一面雪の原、野焼きの場所だけが雪をかいてある。準備の皆さんの苦労が忍ばれる。口開けの神事も済んで合図とともに茅場に火が放たれた。

5月13日(土) 火入れから1週間後、茅場の雪もすっかり解けて所々に名残をとどめ、朝日に輝く新緑は色とりどりのファッションショー。山桜はすっかりほころび、まさに山が笑っている。足下に目をやると茅の芽が動き始め、真っ黒な中にかすかに緑が生きずいているのがわかる。

独り占めではもったいない、そこで思うままにフォトポエム風にまとめてみました。

皆さんも一緒に写真から何かを連想し口ずさんでみられては・・・。



今年も茅場の春が来た  
期待高まる 口開けに



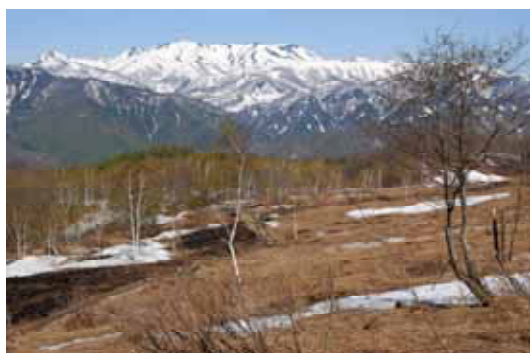
口開けだ 火入れの準備 任せてネ



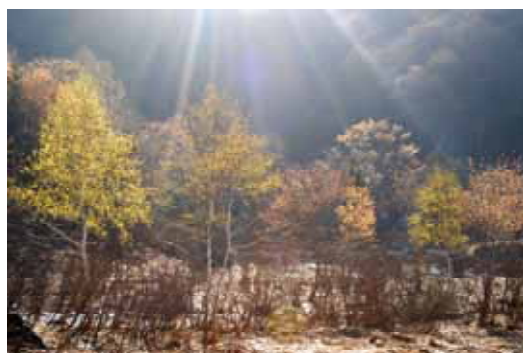
火が入る 緊張走る 火も走る



後が肝心 任せな 消火



いつも見ていた 朝日岳  
茅場の復活 嬉しいね



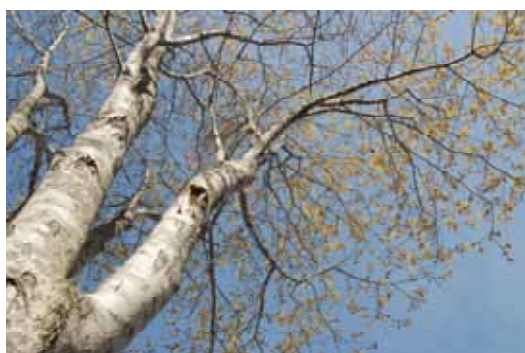
朝の一時 ファッションショー



野焼きにさそわれ 桜も満開



はや動き出す 茅の幼芽



空いっぱい 花を咲かせる 赤イタヤ



やっと顔出す みじか橋



ははそへの 道を彩る 桜花



雪代も 温もるははその 泉かな



厳冬に めげず生き様 晒す落葉松



踏の赤ちゃん 待ちきれず  
土押しのかけて 今日



気の早い シダの赤ちゃん背比べ



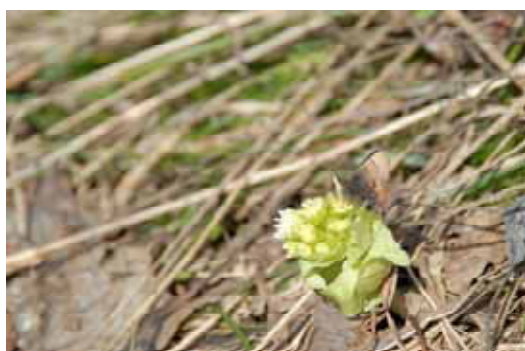
雪代で 磨いたお肌の 白さかな



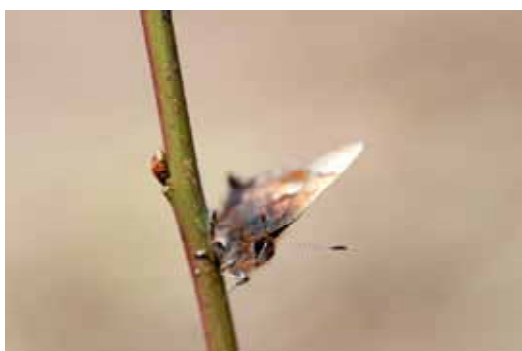
太陽の 恵みを受ける 扇風機



踏んとう 春が来たよと 歌ってる



この花は チョッピリ苦いと  
チョウチョが言うたか



怪獣だ 怖いと木の芽が 言うたとか



霜にふるえる 竜の落とし子



テンもいる 豊かな森の象徴だ



雪のテーブル 鉢からこぼれた  
マロンひとつ



雪のキャンバス 華遊び( )



雪のキャンバス 華遊び( )

以上